

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地						
専門学校 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ	昭和54年5月1日	水野 倫理	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-29-2 (電話) 03-3499-0350						
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地						
学校法人水野学園	昭和58年4月1日	水野 孝彦	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-29-2 (電話) 03-3499-0350						
目的	シューメーカー科シューメーカーコースは、シューズを中心としたファッション業界において、商品開発(企画・デザイン・製作)ならびに商品販売、および関連する商品知識を持った人材を育成することを目的とする。								
分野	課程名	学科名		専門士		高度専門士			
服飾・家政	ファッション専門課程	シューメーカー科 (シューメーカーコース)		平成17年文部科学省告示第176号		—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技		
	2年		昼間	2240	48	64	2096	0	304
単位時間									
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数		総教員数	
56人		27人		2人		1人		3人	
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価		■成績表 有 ■成績評価の基準・方法 評価基準は、90点以上をA、80点以上90点未満をB、70点以上80点未満をC、60点以上70点未満をD、59点以下はF(不可)とする。また評価には値しないが習得レベルに達したと判断された場合はPとする。成績評価は、課題物評価、試験等により行う。				
長期休み	■学年始: 4月1日～4月14日 ■夏季: 8月1日～8月31日 ■冬季: 12月20日～1月10日 ■学年末: 2月17日～3月31日		卒業・進級条件		・学校長および教職員による卒業・進級判定会議において認定されること。以下の①～④を総合的に判断して認定する。 ①課題物評価 ②出席率 ③授業態度 ④成績 ・学費を完納していること。				
生徒指導	■クラス担任制 有 ■長期欠席者への指導等の対応 電話・メールでの連絡、担任面談、自宅訪問、保護者連絡 など		課外活動		■課外活動の種類 国内外コンテスト参加、学園祭、海外研修旅行 など ■サークル活動 あり				

就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等 シューズ業界</p> <p>■就職率^{※1} 100 %</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合^{※2} 75 %</p> <p>■その他 海外留学、進学、オリジナルブランドの立ち上げ など</p> <p>(平成 29 年度卒業者に関する平成30年5月1日 時点の情報)</p>	主な資格・検定等	<p>水野学園 職業技能検定 CAD部門【3級・2級・1級】 シューズ部門 ・パターン【3級・2級・1級】 ・クロージング【3級・2級・1級】 ・メーキング【3級・2級・1級】</p>
中途退学の現状	<p>■中途退学者 0 名</p> <p>平成29年4月1日 在学者 16 名 (平成29年4月5日 入学者を含む)</p> <p>平成30年3月31日 在学者 16 名 (平成30年3月15日 卒業者を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>中退者 なし</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>担任制、出席状況・課題提出状況を書いた保護者通知の発送(年2回)、学校長メールアドレスの全学生公開、専門医によるカウンセリング、学生相談、個人面談 など</p>		
ホームページ	URL http://hikohiko.jp		

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

シューズを中心としたファッション業界において、商品開発(企画・デザイン・製作)ならびに商品販売、および関連する商品知識を持った人材を育成するために、同業界の企業と連携して以下の①～④を踏まえた教育課程の編成を行う。具体的には、新たな科目の設定、既存科目の内容・教育手法の改善、教材の開発、シューズデザイナー、製作者、販売スペシャリストとして必要となる知識や技術など実践的かつ専門的な職業教育の実施に向けた協議・検討することを基本方針とする

- ①新商品企画に関するマーケットリサーチや商品開発力の育成
- ②各種PCソフトや3DCADデザイン技術を含めた、商品デザイン力の育成
- ③オーダーメイドから量産までに対応する商品製作の技術力の育成
- ④商品の販売に関わる流通や店舗企画力、顧客対応力の育成と、関連する商品知識の習得

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成30年5月1日現在

名前	所属
西田 良洋様	一般社団法人 日本ジュエリー協会 理事
松本 薫 様	一般社団法人 日本時計輸入協会 専務理事
飯嶋 薫 様	一般財団法人 ファッション産業人材育成機構 理事
大川 知子様	実践女子大学 生活科学部 生活科学科 生活環境学科 准教授
横山 裕 様	株式会社桑山 デザイナー
林 繁 様	ブライトリングジャパン株式会社 時計技術部技術トレーナー
大澤 重仁様	株式会社シャミオール 代表取締役社長
野村 俊一様	有限会社野村製作所 代表取締役社長
水野 倫理	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 学校長
酒匂 博	学校法人 水野学園 教育部長
松山 英一	学校法人 水野学園 総務部長
斎藤 良	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ ジュエリーデザイン科(ジュエリー系) コース責任者
飯塚 ひろ子	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ ジュエリーデザイン科(ジュエリー系) コース責任者
大友 宏幸	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ ジュエリーデザイン科(ウォッチ系) コース責任者
川島 謙二郎	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ シューメーカー科/バッグメーカー科 コース責任者

(開催日時)

第1回 平成29年8月28日 14:40～15:30

第2回 平成30年3月5日 14:00～16:40

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

多様化するシューズ業界に対応し、社会的・専門的視点から新規的また現実的な企画提案ができる人材を育成するために、協力企業と連携することで実践的企画立案の実習・演習を行うことを基本方針とする。

科目名	科目概要	連携企業等
デザイン造形実習Ⅱ-1	①商品企画開発～生産までを業務とする企業からの課題に対して、企業理念・概念に基づいたデザイン開発を学ぶ。 ②企業が所有するブランドのコンセプトやテーマに基づき、新たなデザイン展開を提案する。	三鈴商事株式会社

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

- ・実務に関する知識、技術、技能などの向上のため、同業界から各職種の専門家による実践的技術・知識の研修を規定に則して計画的に実施する。
- ・指導力の習得・向上のため、人材開発や教育指導力の教育専門機関による研修を規定に則して計画的に実施する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成30年5月1日現在

名前	所属
西田 良洋様	一般社団法人 日本ジュエリー協会 理事
松本 薫 様	一般社団法人 日本時計輸入協会 専務理事
飯嶋 薫 様	一般財団法人 ファッション産業人材育成機構 理事
大川 知子様	実践女子大学 生活科学部 生活科学科 生活環境学科 准教授
吉田 昌充様	東日本ハンドバッグ工業組合 理事長
横山 裕 様	株式会社桑山 デザイナー
堀田 峰明様	株式会社ホッタ 取締役社長
林 繁 様	ブライtringジャパン株式会社 時計技術部技術トレーナー
大澤 重仁様	株式会社シャミオール 代表取締役社長
野村 俊一様	有限会社野村製作所 代表取締役社長

(学校関係者評価結果の公表方法)

http://hikohiko.jp/about_info

5. 情報提供

(情報提供の方法)

http://hikohiko.jp/about_info

授業科目等の概要

(ファッション専門課程 シューメーカー科 シューメーカーコース)平成30年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			デザイン基礎実習Ⅰ-1 (スケッチ基礎)	ドローイングによる靴の線や面を観察、理解すると共に、デザイン画の描き方、表現力を学習する。	1前	32			○	○		○		
○			デザイン基礎実習Ⅰ-2 (デザインドリル)	ドローイング基礎による線画表現とマーカーによる着色画描写を学習する。	1前	32			○	○		○		
○			デザイン基礎実習Ⅰ-3 (プレゼンテーション基礎)	シューデザインプレゼンテーションを行う上で必要不可欠なパワーポイントの基本知識とその操作方法を学習する。	1後	32			○	○		○		
○			デザイン基礎実習Ⅰ-4 (グラフィックソフト基礎)	代表的なドローイングソフトであるイラストレーターを用い、ロゴマーク等のグラフィックワークの基礎を学習する。	1後	32			○	○		○		
○			デザイン造形実習Ⅰ-1 (立体切削による造形)	靴におけるその造形を理解する為に、押し出し発泡ポリスチレンの切削による造形により、造形力の向上と表現力を学習する。	1前	32			○	○		○		
○			デザイン造形実習Ⅰ-2 (素材研究・色彩学)	素材と色にフォーカスし、色彩学の学習と共に、様々な素材の響き合いなどを分析検証し、学習する。	1前	32			○	○		○		
○			デザイン造形実習Ⅰ-3 (オリジナルシューズデザイン)	与えられたテーマからシューズデザインを考察し、各々の考えるテーマからのデザイン展開について学習する。	1後	32			○	○		○		
○			デザイン造形実習Ⅰ-4 (ポートフォリオ制作)	フォトショップ・イラストレーターを使用したポートフォリオ制作を通して、各作品のまとめ方と発信表現についてを学習する。	1後	32			○	○		○		
○			コンピューター演習Ⅰ-1 (CADソフト 基礎)	シューイングダストリーで代表的なCADソフトを使用し、一連の靴づくりの工程におけるCADの活用と意義について理解し、そのオペレーションを学習する。	1通	32		○		○		○		
○			メイキング基礎実習Ⅰ-1 (靴の構造)	靴の解剖を通して、靴の構造、部位の名称、各種製法とその特徴を学習する。	1前	64			○	○		○		
○			メイキング基礎実習Ⅰ-2 (フォーム～原型制作)	フォーム、ミーンフォーム、原型の工程に分けて作成し、ラストの形状を平面に落とし込む技術を学習する。	1前	32			○	○		○		
○			メイキング基礎実習Ⅰ-3 (紳士靴制作Ⅰ)	パターンを基にアッパーを制作し、レザーソールを使用したダービーシューズ制作を通して、レザーソール特有の加工技術を学習する。	1前	96			○	○		○		
○			メイキング基礎実習Ⅰ-4 (紳士靴パターン制作Ⅰ)	半面型、決め型、裁断型を作成し、ダービーシューズのパターン制作技術を学習する。	1前	32			○	○		○		
○			メイキング基礎実習Ⅰ-5 (紳士靴パターン制作Ⅱ)	オックスフォードシューズのパターン制作を通して、半面型、決め型、裁断型を時間内で制作することを学習する。	1前	32			○	○		○		

○		メーキング基礎実習Ⅰ-6 (婦人靴制作Ⅰ)	靴制作で最も多く使われているセメント製法を、婦人靴の代表的なスタイルであるパンプス制作を通して、婦人靴特有の技術を学習する。	1前	72					○	○	○					
○		メーキング基礎実習Ⅰ-7 (婦人靴パターン制作Ⅰ)	レディースパンプスのパターン制作を通して、レディースシューズにおけるパターン制作技術を学習する。	1前	32					○	○	○					
○		メーキング基礎実習Ⅰ-8 (紳士靴制作Ⅱ)	紳士靴の代表的スタイル、オックスフォードシューズ制作を通して、素材の違いについての学習とともに、機械でのマッケイ製法の特徴を学習する。	1後	136					○	○	○					
○		メーキング基礎実習Ⅰ-9 (紳士靴パターン試験)	様々なラストによるダービーシューズ、オックスフォードシューズのパターン制作試験を通して、半面型、決め型、裁断型を時間内で制作することを学習する。	1後	96					○	○	○					
○		メーキング造形実習Ⅰ-2 (パターン制作応用Ⅰ)	デザイン基礎課題で学んだ造形力と色彩・素材を考察・検証し、オリジナルデザインのパターン制作を学習する。	1後	32					○	○	○					
○		学外研修	靴関連の工場、企業、展示会場等の見学を通じて、生産・流通・販売などの業界知識について学習する。	1通	24					○		○	○				
○		特別セミナーⅠ	本学創立の歴史や学園の遍歴を通してその学園理念を学習する。	1後	4		○				○	○					
○		基礎知識テスト	1年間のデザイン・制作授業内で学んだ知識に対する試験を行い、進級認定に達しているかどうかを確認する。	1後	4					○	○	○					
	○	自主研修／自由制作	習得した技術をさらに向上させるため、自主的に研究・学習する。	1通	136					○	○	○					
○		デザイン基礎実習Ⅱ-1 (リサーチからのデザイン)	トレンドやファッションをコーディネート視点においてリサーチ、分析し、それをベースにしたコンセプト、デザイン開発プロセスを学習する。	2前	64					○	○	○					
○		デザイン基礎実習Ⅱ-2 (デザイン展開)	エレガンスをデザインテーマに、ファッションの歴史・文化を知り、その中に伝わるエレガンス要素を抽出したデザイン展開を学習する。	2前	64					○	○	○					
○		デザイン基礎実習Ⅱ-3 (PCデザイン)	代表的なドローイングソフトであるイラストレーターを用い、PCを利用してのデザイン画作成方法についてを学習する。	2後	32					○	○	○					
○		デザイン造形実習Ⅱ-1 (制限のある靴デザイン)	商品企画開発～生産までを業務とする企業からの課題に対して、企業理念・概念に基づいたデザイン開発を学ぶ。企業が所有するブランドのコンセプトやテーマに基づき、新たなデザイン展開を提案する。	2後	64					○	○	○					○
○		デザイン造形実習Ⅱ-2 (ポートフォリオ制作)	フォトショップ・イラストレーターを使用したポートフォリオ制作を通して、該当学年の各作品のまとめと発信表現についてを学習する。	2後	32					○	○	○					
○		コンピューター演習 (3Dソフト 基礎)	シューイングダストリーにおける3Dソフトを使用し、一連の靴づくりの工程における3Dソフトの活用と意義について理解し、そのオペレーションを学習する。	2通	32			○		○	○						
○		メーキング基礎実習Ⅱ-1 (婦人サンダル制作)	ハイヒールサンダル制作を通して、サンダル制作に必要な底材加工技術を学習するとともに婦人サンダル特有の技法、知識を学習する。	2前	56					○	○	○					
○		メーキング基礎実習Ⅱ-2 (ロングブーツ制作)	短靴にはないロングブーツ特有の筒部のデザイン展開を考察した上でのロングブーツ特有の技術と制作方法を学習する。	2前	104					○	○	○					

○		メーキング基礎実習Ⅱ-3 (サイドゴアブーツ制作)	サイドゴアブーツの制作を通して、ステッチダウン製法を習得するとともにクレープ素材の加工方法を学習する。	2 前	64					○	○		○				
○		メーキング基礎実習Ⅱ-4 (グッドイヤー製法靴制作)	ダービーUチップシューズの制作を通して、グッドイヤー製法などの紳士靴における底付け製法についてを学び、それぞれの製法による靴の違いについてを学習する。	2 後	120					○	○		○				
○		メーキング造形実習Ⅱ-1 (ラスト制作Ⅰ)	自己足の計測を正確に行い、足型データを元にしたラストを制作することで、測定方法の詳細を学ぶ。	2 前	32					○	○		○				
○		メーキング造形実習Ⅱ-2 (歩行サポートの研究)	足と歩行の関係性について考察をし、正しい歩行をサポートする靴の形状について学習する。	2 前	64					○	○		○				
○		メーキング造形実習Ⅱ-3 (ラスト制作Ⅱ)	足の計測を行い自分のオリジナルラストを制作し、履き心地についてのレポートにより、足と木型、フィッティングの関係について学習する。	2 後	96					○	○		○				
○		メーキング造形実習Ⅱ-5 (分業体験実習)	分業による靴制作を通して、デザイナーとしての品質管理方法と、各工程における制作方法を学習する。	2 後	104					○	○		○				
○		ビジネス講義Ⅱ-1 (企業セミナー)	ファッション業界の様々な分野の方のセミナーを聴講し、業界の実際を広く学習する。	2 前	32		○						○			○	
○		シューズ業界講義	靴の生産から出荷に至るまでの全体の流れを理解し、その間の基本的な業務や管理事項を学習する。	2 通	8		○						○			○	
○		学外研修	靴関連の工場、企業、展示会場等の見学を通じて、生産・流通・販売などの業界知識について学習する。	2 通	16								○		○	○	
○		特別セミナーⅡ	卒業後の企業就職や独立に向けて、社会人としてのモノ作りとの取り組み方について学習する。	2 後	4		○						○			○	
○		卒業テスト	2年間のデザイン・制作授業内で学んだ知識に対する試験を行い、卒業認定に達しているかどうかを確認する。	2 後	4								○	○		○	
	○	自主研修／自由制作	習得した技術をさらに向上させるため、自主的に研究・学習する。	2 通	136								○	○		○	
合計					46 科目		2512 単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件＝卒業までに必要な履修科目をすべて履修していること。 必修科目のすべてを履修していること。自由選択科目は対象外。 履修方法＝課題物評価では『F』以外、試験では70点以上で履修となる。		1学年の学期区分	2 期
		1学期の授業期間	26 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。